（別紙３）

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八街市立　つくし園			
○保護者評価実施期間	令和　7年　2月　3日	～	令和　7年　2月　21日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	26名	（回答者数）	19名
○従業者評価実施期間	令和　7年　2月　3日	～	令和　7年　2月　21日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6名	（回答者数）	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和　7年　3月　21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・親子で通園する施設のため、日々の療育を受けお子さんの成長や変化を身近に感じることができる。	・療育内容に偏りがないように計画を立てる。療育当日の参加者の年齢や発達に合わせ臨機応変に対応できるよう職員間での打ち合わせを大切にしている。	・職員間でその日の療育内容を振り返り子どもの姿を共有し、次回に活かせるようにする。また、専門の先生方のアドバイスを元に個々に合った対応の仕方ができるようにする。
2	・個別指導の実施	・1対1の療育により、個々に合った療育を提供できる。また、保護者の声を丁寧に聞き取り反映できる。	・一人ひとりの発達の様子を考慮し個別指導と小集団による療育を経験できるようその都度保護者と相談し療育を進める事ができるようにする。
3	・保護者と通園することにより、保護者同士の情報交換等ができる。	・『ライフサポートファイルを書こう会』を実施し、保護者同士や先輩ママの経験談を聞くなどの情報交換を定期的に実施している。	・母子分離の時間を作り保護者同士の情報交換の充実を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・親子通園のため、急遽保護者の仕事等の状況が変わると登園できなくなってしまうこと。	・仕事の都合での欠席は仕方のないことではあるが、一人ひとり丁寧に関わりできる限り登園してもらえるよう声がけをする。	・日々の療育をより充実させ次回の登園を楽しみにできるようにする。
2	・急遽欠席となる子が増えると小集団での療育が成り立たず療育展開が難しくなること。	・天候や体調不良、保護者の仕事などで利用ができないことが多い。	・登園人数が減っても今まで通り療育内容を変更したり、臨機応変に対応していく。
3			